

災害対応について

○災害に対する備えについて

非常災害に関する具体的な計画を立て、防火管理者を定めています。
また、非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを職員に周知するとともに、火災訓練その他必要な訓練を定期的実施しています。

(1)防火管理者 竹内 由紀絵

(2)防災訓練・・・様々な災害状況を想定し、毎月、全園児と全職員で避難訓練を実施しています。

園児と職員による訓練

火災時対応訓練 (毎月)	地震時対応訓練(年3回)
暴風雨水害時対応訓練(年1回)	不審者対応訓練(年2回) ほか

職員による訓練・研修

通報訓練	救命救急法・AEDの研修(年一回 全職員)
初期消火訓練	乳児睡眠時事故対応訓練

(3)防災設備

消火器、誘導灯、火災報知器、非常通報装置 避難はしご『オリロー』 ほか

(4)防災用品

AED、防災セット、飲料水(2ℓ×42本)、保存食、ミルク、アルミシート、ランタン など
非常時に必要と思われるものを保存しています。

(5)その他

非常ベルが鳴動すると自動的にセキュリティー会社を通じて消防署および警察署に連絡が入る仕組みになっています。

○災害時における対応について

(1)火災発生時

出火場所に応じて 宇品東第一公園(ちびっこ広場) あるいは 園の駐車場 に避難



その後、状況に応じて 特別養護老人ホーム広島和光園 あるいは 宇品中学校 に避難

(2)地震発生時

各保育室で安全を確保し、余震が収まるまで待機する

火災発生

大きな津波の可能性がある場合

靴を履いて宇品東第一公園
あるいは
園の駐車場へ避難

保育園の園舎が無事な場合は保育園2階に避難
園舎に何らかの危険性がある場合は
特別養護老人ホーム広島和光園の2階以上階に避難
あるいは、宇品中学校 ※広島市洪水ハザードマップ参照

(3) 高潮浸水時など ※広島市洪水ハザードマップ参照

高潮浸水時、当園への浸水は2m以下と予想されるため、保育園2階にて待機

(4) 超巨大台風(伊勢湾台風クラス)直撃時

台風の規模や経路等により被害が甚大であることが予測される場合は、休園となる場合があります。

(5) 地震時の液状化現象について

大きな地震の場合、地盤が液状化する可能性があります。当園自体が火災にならない限り、建物内で待機しておくことが安全と思われます。

※ ひよこ組は別棟にありますので、災害発生状況や災害発生場所に応じて上記の避難方法や避難場所と異なる場合があります。

○災害時の保護者の方への連絡について

緊急時の情報は原則、『キッズリー』(ユニファ株式会社)の園からのお知らせ機能を使用し、「重要連絡」として、お知らせします。

○災害共済給付金制度への加入について

在園中の不慮の事故や災害のため、任意で次の制度への加入をお願いいたします。

保険の種類	独)日本スポーツ振興センター
保険の内容	災害共済給付
保護者負担額	250円(年額)